
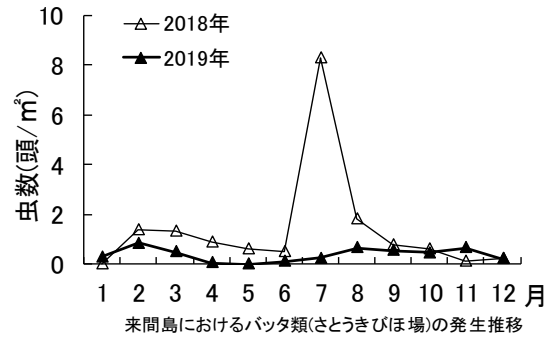
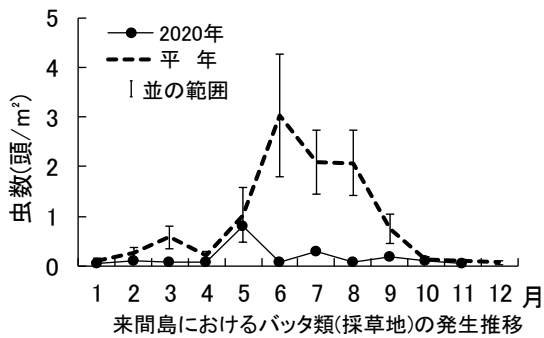


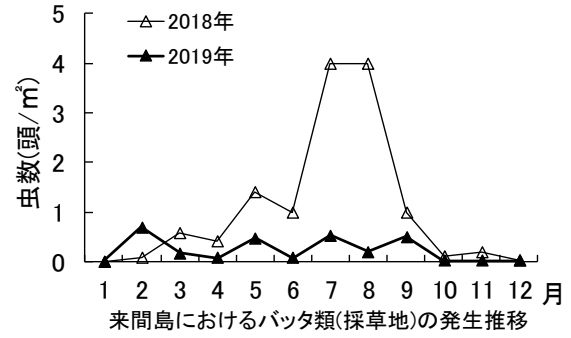
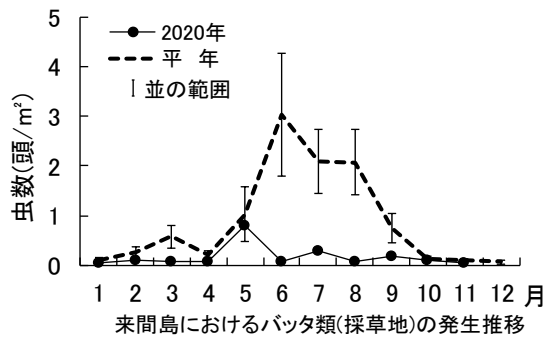
作物	さとうきび		地域	宮古群島
病害虫名	バッタ類			
調査結果	11 月の発生量 (平年比)	やや少		
予報	11 月からの増減傾向	→		
		12 月の発生量 (平年比)	やや少	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		

調査結果

今年と平年の推移




過去2年の推移

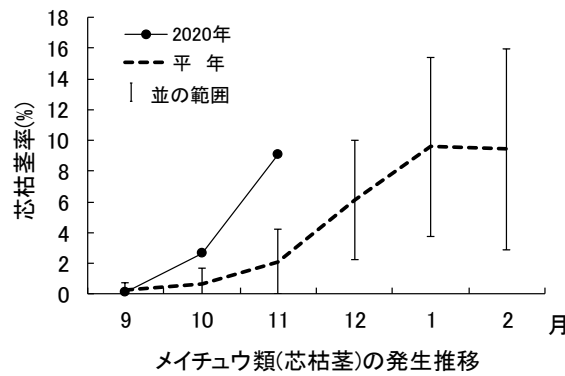


防除のポイント

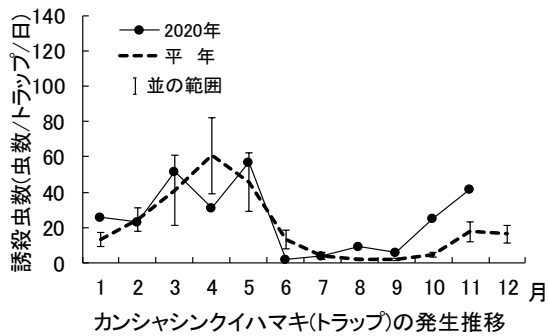
- ・ 発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。
- ・ 成虫防除を実施する場合には、活動の鈍い早朝に一斉防除を行うと効果的である。

作物	さとうきび		地域	宮古群島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)			
調査結果	11 月の発生量 (平年比)	多		
予報	11 月からの増減傾向	↗	12 月の発生量 (平年比)	
予報の根拠		芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗)		

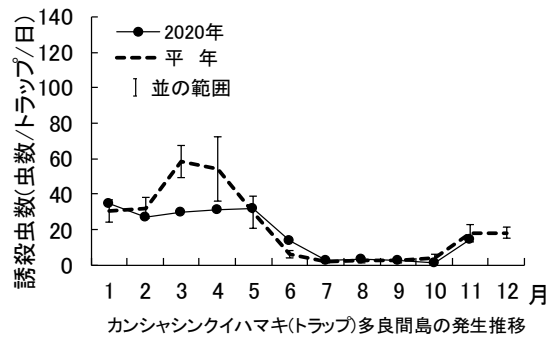
調査結果



宮古島




多良間



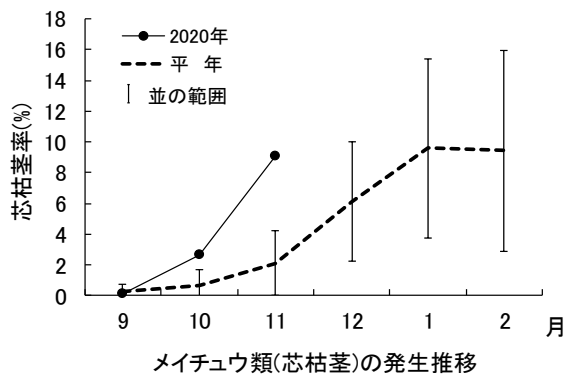
- ・ 芯枯れ発生ほ場率：90.0% (平年値：67.5%)
- ・ 茎内で発見したメイチュウ類のうち、78.6% (11/14頭) がカンシャシクイハマキであった。

防除のポイント

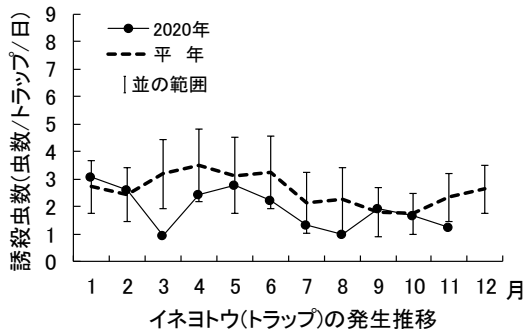
- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	② メイチュウ類 (イネヨトウ)		
調査結果	11 月の発生量 (平年比)	多	
予報	11 月からの増減傾向	↗	
	12 月の発生量 (平年比)	多	
予報の根拠		芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗)	

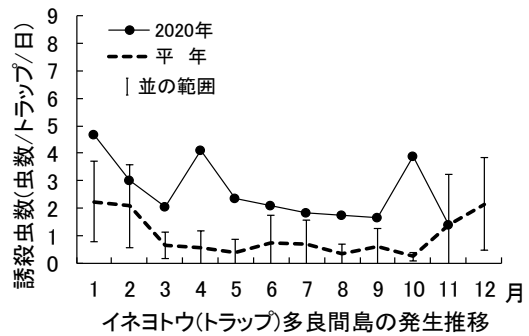
調査結果



宮古島



多良間



- ・ 芯枯れ発生ほ場率：90.0% (平年値：67.5%)
- ・ 茎内で発見したメイチュウ類のうち、21.4% (3/14頭) がイネヨトウであった。

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。